

第32回 「栄区子ども会書道展」 講評

“今年も素晴らしい作品ぞろいでした”

今年も昨年よりも多くの応募があり、どの作品も堂々としていて甲乙をつけがたいとても素晴らしいものばかりでした。「心正しければ則ち筆正し」という言葉があります。

よい心をもっている人はおのずとそれが字にも表れて、美しい筆の流れの美しい字になるという意味です。今年も堂々としたもの、しなやかな筆の流れのものなど、たくましさや美しさがあり、みなさんが心を込めて一生懸命書いた様子が字に表れていたように思います。

コロナ禍、様々な制限がある中でもこのようにのびのびと書かれた作品の数々に触れ、元気をいただきました。今後もぜひ心を込めて思うままに書道を楽しんでいてほしいと思います。

横浜市立本郷中学校教諭 増田 和徳 先生

